

奥富喜一議員一般質問予定の内容についてのつづきを紹介いたします。

四、信用保証協会の「保証料」と「責任共有制度」について

2006年4月保証料実質的引上げ、2007年10月からの金融機関にリスク負担20%を課すことの実施が原因で、中小企業に対する融資額減少や、打切りが起きている問題について問います。

五、小規模工事等契約希望者登録制度について

前回に引き続き、市内小規模建設業者等の入札参加の機会確保を問います。

六、高齢者や障害者にやさしい行政、経済的支援策について

- (1) 75歳以上の後期高齢者医療制度での健康診査について
- (2) 75歳以上の後期高齢者の診療報酬の新設について
- (3) 高齢者住宅家賃助成などの復活について
- (4) お年寄りの生活を支援する取り組み、痛み和らげ手当支給などについて

七、C型肝炎ウイルス感染者対策について

- (1) 肝炎ウイルス感染者の検診と発見状況について
- (2) C型肝炎ウイルス潜在患者が350万人と言われていることからいけば、福生市内でも1,700人余りもいることになるが、現状どの程度が把握されているのか
- (3) まずは、検診を受けてもらうことだが、どのようにすすめるかとしているのか
- (4) 感染が判明した場合のその後の治療についての相談窓口はどこにあるのか
- (5) どんな治療法があるのか、完治するものなのか
- (6) どんなことに気をつければ他の人への感染を防げるのか
- (7) C型肝炎感染者を救済するための給付金支給の特別措置法とは
- (8) 因果関係など、どのように証明するのか、弁護士に頼んで解決できるのか?



八、妊婦検診の公費負担を14回とするについて

- (1) 東京23区のうち20区で、4月から妊婦検診の公費負担が14回に増えるが、当市での現状はどうか
- (2) 今後、国基準に従った14回に公費負担を拡大することについての考えはあるか

九、中央公園や南公園にごみ指導員を常設配置する取り組みについて

(1) 環境問題は最近強く叫ばれるようになったもので、こどもたちだけでなく、私たち大人への教育も不可欠です。最大の効果を上げるのが、公園にごみ指導員を配置し、ごみの分別の仕方を直に知る機会の拡大を図ること。狭いスペースで資源ごみ貯留で困っておられる家庭に、気軽に排出の場を設けることが出来れば一石二鳥の成果が得られるので実施すべきと考えますか



十、交通弱者対策としてのバスを、走らせる計画の進捗状況等について

- (1) 試乗をさせていただいた感想としては、大変良いとの感想を持ちました。
- (2) バスの運行にあたる方の負担が大きいようなので、労働の配慮が気になったが
- (3) 小学生の低学年、せめて2年生ぐらいまで含まれないものなのか?
- (4) 羽村のハムランが福生病院まで乗り入れているように、西多摩衛生組合の温水プール、瑞穂斎場などにも乗り入れる希望も多いが、可能性はどうか
- (5) 今後の課題として、健常者についても、環境保護の視点からバス乗車を促進し、自家用車を市内、市内周辺では乗らないことに発展させること、別途コミュニティバスを走らせる必要があると考えますがどうでしょうか

